

立體紙摺について

静岡櫻花幼稚園保母 林 叔 子

淺學な私が、此の幼兒の教育の尊い紙上で、筆をとめさせていただきますことは、あまりにおこがましう存じますが、本年十月二日、伊勢大社御遷宮式の當日、賀陽宮御殿に、立體紙摺でまゝごと遊びの道具の一部を献上の光榮に俗し、同十月十五日、同宮家附宮内事務官梶田文太郎殿から、献上品の披露に及んだといふ御沙汰をいただき、感激に堪えないので御座います。これは昨年六月日本幼稚園協會の總會の時、堀先生から何か發表せよとの仰せに、少しばかり發表させていたゞきましたのでしたが、その時女子學習院の附屬幼稚園の宇佐美先生の御耳にとまりましたのが動機と

なり、同昨冬十二月下旬やはり女子學習院の附屬幼稚園の望月系子先生が名古屋へ御祝察の御歸途態々私の園に御來園下さいまして私の考案の一部をとの御言葉、折角の御來駕に私はその時病床に居りましたが、失禮をもちかへりみず同先生に御目もじ申上げ、あつかましくも御つたへ申上げましたのでした。その後いろく望月系子先生から御厚情賜はりました。今度の光榮に俗しましたのも同先生の御配慮に預りましたことゝ心から感謝して居ります。考案に着手した第一年大正七年から本年に至る拾貳年間、御力添へ下さいました倉橋先生に對しましても亦深謝いたして居ります次

第で御座います。私の考案といたしましては、籠類、花瓶類、菓子器、手提袋類、箱類、鞆類、茶器類、鉢類、其他自動車、乳母車、トロッコ、等七拾余種にわたつて居ります。これらの立體紙摺によりまして、子どもの遊びの世界に、子どもと先生との接觸の間に、そこに要求せらるゝものが、個人製作により又共同製作により、満足されて行きます。そして立派にしかも容易に子どもの非現實生活に、創造生活に、満足を與へる事が出来ることを信じます。大さも材料も、その時、そこに要求せらるゝものに自由に作られます。尙此の立體紙摺に從來の紙摺も、貼紙も、切紙も、組紙も、畫方もその他の手技をあつかつて行く事が出来、これによつて一層趣の深いよい製作となります。今回はこの立體紙摺についての理論や細かいその應用方面は一切御遠慮いたしまして、ただそのうちの二つを左に圖解して御紹介申し上げます。

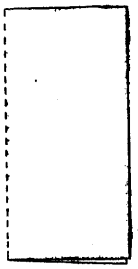
(摺み方圖は次頁に)

昭和四年十一月の文部時報に發表された全國學事統計概覽によれば幼稚園は

	官立	公立	私立	計
園數	二	四〇一	七七九	一、一八二
保姆	一三	一、三五四	二、二三一	三、五九八
幼兒	男二一七 女一七八	二四、九六九 二三、三二九	二五、九〇八 二四、七七三	五一、〇九四 四八、二八〇
その教育費は				
市費	八一九、三九二			
町村費		四九九、〇六三		
計	一、三一六、一七一			

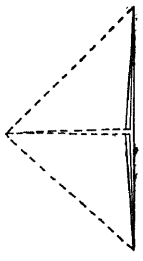
果物籠ノタ、ミ方

「黒色ノ處ハ裏ヲ示ス。點線ハ折目又ハ袋ニナツテ居ル處ヲ示シタメナシ。



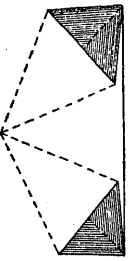
方長リ折テ分ニテ形方正ルヌト形

圖 2



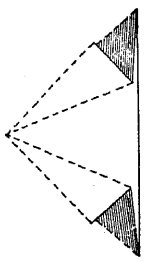
△ニ中央チ方ノナクソノ圖 1
△ニ中央チ方ノ折ニ角三テケルヌト形如ノ圖 2

圖 3



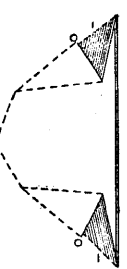
折合バラタリナク知ノ圖 2
手ニ中ノソノ上ノ角
サホニ平シラクソテ入チ
ルナク知ノ圖 3トル

圖 1



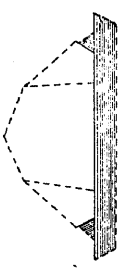
右左バラタツナニ様ノ圖 3
向チ半分及ナイラヒ今モト
ルナト圖 4ヌヘカリ折ニ側

圖 4



ノ所ノ角三ルキテ出ノ裏今
ズニ下シ少モト右左チ方一
バレスニ様同モ側ノ向スラ
ルナク知ノ圖 5

圖 5



ノ三ル居テ出ノ裏ノ圖 5
ニ様チ處ノ印「一」ノ右左
ルナク知ノ圖 6ル折ヲ細

圖 6



圖 7

圖 5 バラタリ折ガ部上ニ様ノ圖 6
ニ居テ折テ又處ノ印「〇」ノ
ルナニ様ノ圖 7 バレ折度一ツモ、

圖 8



カ印「×」ノ圖 7 バラタツナニ様ノ圖 7
。ルケツチリ折ニ様ニ印「×」ヲ
ロヒシ但。ルナト底ガ分部分ノ
チ處タツ折テ分部分ノ底今ハ時ルダ
底バラタツ折テロヒ。ルケツチリノ角
折リカツツシハリハ。長ノ
圖 9 トルケツチチニレコ。ルケツチリ
ル上來自ガ籠物果ニ様ノ

圖 9

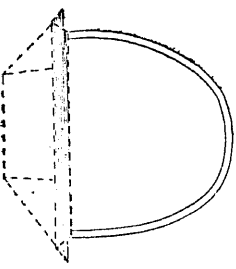


圖 9

